

技術実績評価  
型総合評価

# 初採用2件を開札

# 技術点1位が落札者に

設備1億2000万円以上  
上の案件。

14日に開札した都営住宅の建替工事2件で、技術点の評価は佐藤建業が24点、中村建設が26点と最も高かった。一方、価格点は、佐藤建業が第3順位（落札率85%）、中村建設が第2順位（落札率86%）となっていた。

技術実績評価型はこのほか、王子本町三丁目団地の建替工事3件にも採用しており、1件を2月28日、2件を3月10日に開札する予定でいる。

東京都財務局は14日、技術実績評価型総合評価方式を初めて採用した都営住宅の建替工事2件を開札し、落札者を決めた。落札者は「都営住宅22H—1112東（北区王子本町三丁目）工事」が佐藤建業、「都営住宅22H—1114東（北区王子本町三丁目）工事」が中村建

設。いずれの企業も価格点は2位以下だったが、技術点が1位となり、トップの総合評価値を獲得した。

技術実績評価型は、都が実施する技術提案型、技術力評価型、施工能力審査型に続く四つ目の総合評価方式。技術力評価型の評価項目から施工計

画評価を除き、審査期間を短縮。また、低入札に対する価格点の上昇率を抑えることで、極端な低入札の価格評価を抑制する算定式を採用している。1月4日から試行を開始した。

対象工事は予定価格が▽建築4億円以上▽土木3億2000万円以上▽